

平成30年度客員教員候補一覧

(火山噴火予知研究センター、地震・火山噴火予知協議会推薦枠)

整理 番号	氏 名	現 職	研 究 課 題	担当教員
1	あおやま ひろし 青山 裕	北海道大学大学院 理学研究院 准教授	溶岩円頂丘底部の構造解明に 向けた地震学的観測研究	大湊 隆雄 准教授
2	あいざわ こうき 相澤 広記	九州大学 理学研究院 准教授	火山地下の電気比抵抗4層構 造の研究	大湊 隆雄 准教授
3	みやぶち やすお 宮縁 育夫	熊本大学 教育学部 准教授	火山地域で発生する斜面崩壊 および岩屑なだれに関する火 山地質学的研究	前野 深 准教授
4	わたなべ としき 渡辺 俊樹	名古屋大学 大学院環境学研究科 教授	自然地震記録に対する波動場 解析の適用による地下構造イ メージング	加藤 尚之 教授

* 整理番号は五十音順

火山噴火予知研究センター／地震・火山噴火予知研究協議会推薦客員教員（4名）

氏名 青山 裕
所属 北海道大学・大学院理学研究院
職名 准教授
研究課題 溶岩円頂丘底部の構造解明に向けた地震学的観測研究
推薦理由 「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」を進める上で、観測研究にかかる多様な視点から意見を得られる人材が不可欠である。青山氏は火山の観測研究に長く携わり、火山観測の現場の実情や気象庁や自治体の防災関係者との関係構築などの経験を数多く積んでおり、火山における観測研究計画を進める上で貴重な意見を伺うことができる人材である。また、青山氏は地震学的手法による火山活動や火山構造に関する研究を進めており、平成30年度には昭和新山を対象フィールドとして、溶岩ドームを形成したマグマの定置状態に関する地震学的研究を計画している。この研究からは火山噴火の終息判断に関する重要な知見が得られ、火山活動推移予測の精度向上につながることを期待できる。以上の点から、青山氏を客員教員として推薦する。

氏名 相澤 広記
所属 九州大学・理学研究院
職名 准教授
研究課題 火山地下の電気比抵抗4層構造の研究
推薦理由 相澤氏は、火山地域における電磁気学的手法による比抵抗構造研究を精力的に進めており、火山の構造に関する新しい知見を次々と発表している。火山地域においては一般的に浅部から深部に向かって「高比抵抗」－「低比抵抗」－「高比抵抗」という3層構造が見られるが、近年、さらに深部に低比抵抗の第4層が存在することが見出され、深部からの火山性流体の供給路ではないかと解釈されている。本研究では、霧島火山を対象として電気比抵抗4層構造の特徴を明らかにし、現在も活動が続く霧島の硫黄山や新燃岳での火山活動解釈に生かす。
電気比抵抗4層構造に関する研究は火山における流体供給系を理解する上で極めて重要であり、防災上重要な水蒸気噴火のメカニズム解明に寄与し、火山災害を軽減する研究に大きく寄与することが期待されることから、相澤氏を客員教員として推薦する。

氏名 宮縁 育夫
所属 熊本大学教育学部
職名 准教授

研究課題 火山地域で発生する斜面崩壊および岩屑なだれに関する火山地質学的研究

推薦理由 火山周辺では未固結な火山砕屑物が広く分布し、豪雨や地震などにより大規模な崩壊が起りやすい。宮縁氏は火山周辺で発生する斜面崩落現象に関する第一人者であり、これまで阿蘇火山の噴火履歴や噴火現象の知見に基づいて、豪雨や地震活動に伴う斜面崩壊など地質学的研究を幅広く進めてきた。また、2013年に伊豆大島で発生した斜面崩壊の際には、崩壊メカニズムや災害特性について、地震研究所の研究者と共同で明らかにしている。平成29年度は客員准教授として斜面崩落現象の解明を進めた。本研究により斜面崩落現象の理解が進むことで、噴火・災害予測研究への大きな貢献が期待できることから、平成30年度も継続して、宮縁氏を客員教員に推薦する。

氏名 渡辺 俊樹

所属 名古屋大学環境学研究科

職名 教授

研究課題 自然地震記録に対する波動場解析の適用による地下構造イメージング

推薦理由 「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」の効果的な推進のためには、適切な予算配分を行うための指導力を発揮できる教員が必要である。平成30年度は、31年度に開始予定の次期計画における課題予算配分を検討するため、適切な予算案の作成はとりわけ重要である。渡辺氏は、これまで計画推進部会長、企画部長、戦略室員を歴任しており、地震・火山噴火予知研究協議会の運営を熟知し、関係研究者の信頼も厚い。この経験を活かし、平成29年度に引き続き平成30年度の予算委員長として協議会での研究推進への貢献を期待している。また、渡辺氏は、地震波による構造探査手法開発や、東海地域の地殻構造解明等の研究成果をあげてきた。自然地震を用いた波動場解析により地殻構造を推定する手法について検討し、地殻内構造の高分解能な解明のための研究を行っている。このような研究は、地震発生機構の解明と物理モデル構築のためにも重要である。これらの理由から、渡辺氏を客員教員として推薦する。